


1. 企業概要 (105号室)

会社名	インテグレーションテクノロジー株式会社						 Integration Technology	
所在地	本社：埼玉県和光市南2-3-13 和光理研インキュベーションプラザ105号 東京事務所：東京都中央区日本橋蛸殻町1-36-7 蛸殻町千葉ビル2階							
代表者	船田 浩良	資本金	2,450万円	従業員	24人	設立	2011年7月	
URL	http://www.int-tech.co.jp/			連絡先	TEL 048-458-5105 E-Mail info@int-tech.co.jp			
事業内容	ソフトウェア開発・販売							

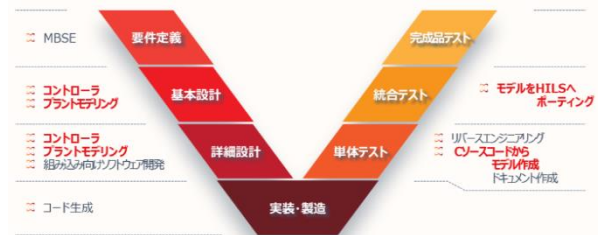
2. PRポイント

『モデルベース開発とガラスモールドシミュレーション』

◆モデルベース開発【MBD】

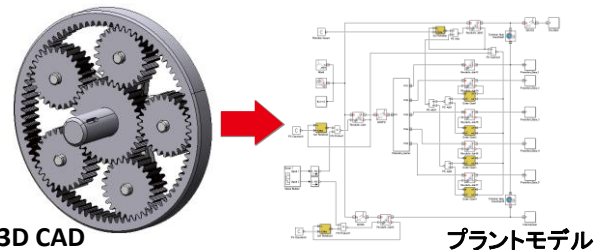
製品企画段階から実施する、新しいシミュレーション法：モデルベース開発【MBD】

これまでのシミュレーションは、製品デジタルデータ化により、品質・コスト・生産性を向上させるプロセスであった。モデルベース開発では、制御システムを企画構想段階から、設計、試作、検証の開発プロセスにおいて、制御システムを図式で表現した「モデル」で定義を行い、シミュレーションで動作をテストさせ、そのまま製品に実装していく開発プロセスとなる。制御モデルと制御対象物理モデル双方の大規模化・複雑化・高度化にともない、自動車業界を中心に必須の技術になりつつあります。



モデルベース開発事例【MATLAB/Simulink 等を利用したプラントモデリング】

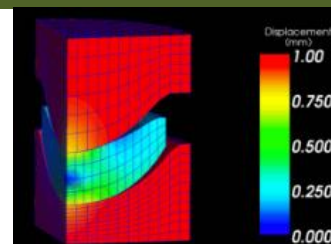
3Dモデルを生成し、機構部品の動きをモデル化し、コントローラで動作させます。3Dモデルは、非接触測定器を利用したモデリングも対応します。構造の明確化やシステムの動作を把握、制御設計の抜け漏れをなくす事が可能です。当社ではMATLAB、AMESimなど、さまざまなツールでの開発に対応できます。



◆ガラスモールドシミュレーション

「V-Glace」ガラスモールドシミュレーション

理研で開発されたVCADをベースに改良、機能追加することにより実現。ガラスモールド成形における、成形技術(収縮による形状変化、残留応力による屈折率分布、熱による材料特性の変化等)を高精度に完全な3次元(ヘキサメッシュ)で解析可能なシミュレーションシステムです。光学性能設計と統合して利用することができます。ソリッド3次元モデルによるプリフォームからレンズ取り出しまでの過程(高温下でのプレス過程での金型とガラスの時々刻々と変化する接触状態におけるガラス挙動)の高精度なシミュレーションが可能です。



3. 特記事項

- MATLAB 等を利用したMBD(モデルベース開発)、とりわけ、プラントモデル開発が得意分野
- 理研で開発したVCADを利用して、弾塑性解析、流体解析等も実施可能

■主要取引先: アイシン・エイ・ダブリュ(株)、いすゞ自動車(株)、(株)いすゞ中央研究所、(株)A&D、(株)MCOR、オリンパス(株)、コニカミノルタ(株)、ジャヤトコ(株)、(株)SUBARU、(株)タムロン、トヨタ自動車(株)、(株)ネクスティエレクトロニクス、日本無線(株)、ホンダエンジニアリング(株)、(株)本田技術研究所、(株)先端力学シミュレーション研究所、日野自動車(株)、ローム(株)、ヤマハ発動機(株)、マスワークス合同会社、(株)小糸製作所、(株)東海理化電機製作所、トヨタテクニカルディベロップメント(株)、住友電気工業(株)、日立オートモティブシステムズ(株)、(株)日立製作所、(株)大阪科学技術センター、東京海洋大学、東京工業大学、東京女子医科大学、理化学研究所、駒澤大学など。